

第1 就職活動の流れ

1 法科大学院2年次

エクスターンシップ

2 法科大学院3年次

エクスターンシップ

サマークラーク（主にGPAで選抜）

事務所のHP、ジュリナビ、アットリーガル等に情報が掲載

サマークラークに参加した学生用の食事会などもある

3 予備試験合格発表後

予備試験合格者向け説明会

※予備試験合格後にウィンタークランクを経て司法試験受験前に大手事務所から内定をもらう方もいる。

4 司法試験受験後

弁護士事務所就職活動開始（大学、法科大学院、択一の成績）

大手等はこの時点で内定まで出す。

5 司法試験合格発表後

弁護士事務所就職活動継続（+司法試験の成績）

司法試験の成績がよければこの時点で大手事務所も

企業や官公庁の就職活動も開始

6 司法修習開始

裁判官・検察官の就職活動開始（起案の成績や修習の成績）

司法修習の最初のアンケートに志望する旨を記載する

就職希望先と修習地が遠方である場合は、移動等も含めて不利な部分がある。なお、企業であればスカイプでの面接を行っているところもある。

7 司法修習終了

※ 仙台では主に5番と6番の時期に就職活動を行う場合が多い。

第2 面接等の形態

1 説明会

面接に向けた情報収集などを行う。なお、説明会は集団面接を兼ねている場合もあり注意が必要である。

事務所や企業等が合同で行う大規模な説明会や事務所ごとの説明会がある。

東京三会主催の合同説明会や東北弁連主宰の合同説明会等がある。※合同説明会後の個別説明会がセットになるブースもある。

2 OB訪問

情報収集など

3 応募

ES等を事務所に送付する。

事務所のHP、ひまわりナビ、ジュリナビ、アットリーガル等に募集が掲載されるため、気になる事務所がある場合にはこまめに確認する。

なお、掲載がないところに応募し、面接設定してもらうこともありえないわけではない。

※仙台では公募しているところは少ない印象である。

4 紹介など

弁護士や修習生の紹介などで面接等を設定してもらう場合もある。

5 面接・事務所訪問

俗に言う事務所訪問は基本的には面接のことなので注意が必要である。

事務所によるが、多いところでも3次～4次面接程度か

若手→中堅→採用担当・経営担当パートナーのようなイメージか。

最初から採用担当パートナーとの面接もある。

一番多かった質問は「何か質問ある？」

6 食事等

面接後や説明会後に食事会など（カラオケもあり）が開催されることがあるが、こちらも面接と同様であるので注意が必要である。

自分をアピールする場であると考えましょう。